

FP Pro. DLL版

FP Pro.ファイルシステムから作成できるようになりました！

FP Pro. DLLとは？

FP Pro.DLL版はFP Pro.の通常暗号ファイル、および自己復号ファイルが生成できるDLLモジュールです。

貴社システムにFP Pro.DLL版を組み込むことにより、自動的に、大量の暗号ファイルを作成することができます。

機能と特徴

暗号ファイルの自動生成

step1 ファイル出力 step2 手動にて暗号ファイルを作成



FP Pro.DLL版を組み込んでいけば

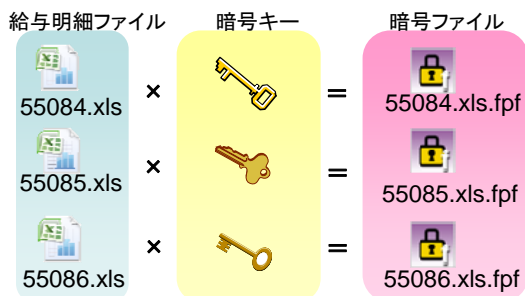
one step



自動でシステムから暗号ファイルを出力できます！

FP Pro.DLL版をシステムへ組み込み、ファイルと暗号キーを設定することで、自動的に暗号ファイルを作成することができます。深夜の実行、大量の暗号ファイルの作成等、作業の効率化を図ることができます。

変更可能な暗号キー



給与明細などの個人のファイルに対して、それぞれ異なる暗号キーで暗号ファイルを作成することができます。暗号ファイルが誤ってユーザに送付された場合でも、正しい暗号キーを持っていなければ、ファイルを見ることはできません。多くのユーザに対し、個々のファイルを配布する際の、ファイルセキュリティとして有効です。

選べるファイル形式



通常暗号ファイル

FP Pro.形式で暗号ファイルを作成することができます。作成された暗号ファイルは既存製品「FP Pro.」で、復号することができます。



自己復号ファイル

既存製品「FP Pro.」が入っていない環境でも、復号できるファイルを作成できます。

ファイルを開いた後のセキュリティ



自己復号ファイルの形式の場合、ユーザがファイルを開き、閲覧した後、復号されたファイルは削除監視機能により、自動的に削除されます。※削除監視機能の有効または無効を選択できます。※ご利用の環境に依存する場合があります。

対象ファイル、鍵、パスを指定するだけ！

ファイルフォーマット、暗号キーの持たせ方、その他暗号ファイル作成の為の細かい設計は必要はありません。

※新規開発用SDKの提供も可能です。

新規に暗号モジュールを組み込む場合



FP Pro.DLL版をご利用の場合

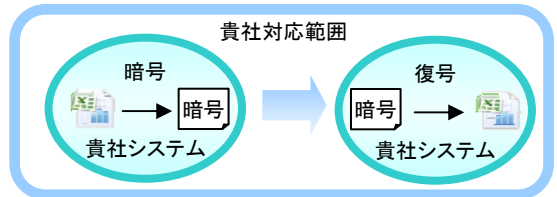


勝手にバージョンアップ！

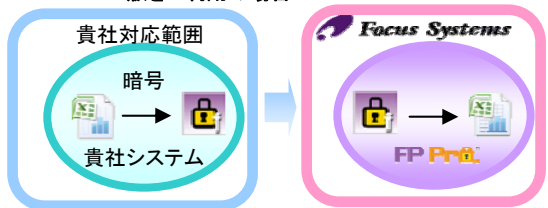
クライアントアプリケーションのOS対応は手間とコストがかかります。

FP Pro.dllを使えば、復号に利用するアプリケーション (FP Pro.) のOS対応はメーカーが行います。

新規に暗号モジュールを組み込む場合



FP Pro.DLL版をご利用の場合



【プラットフォーム】

以下のプラットフォームで動作確認を行っています。

Windows XP Professional SP3 (32bit版)

Windows Server 2003 SP2 (32bit版)

以下のランタイムを必要とします。

- ・ MSVCP60.dll
- ・ RSAENH.dll または、RSABASE.dll (※)
- ・ MSVCRT.dll

※ RSAENH.dll または、RSABASE.dllは一定のバージョン以上にしておく必要があります。

※ 通常はOS標準でインストールされています。

【製品構成】

インターフェイス仕様書：印刷物、電子データ 各1部

モジュール： FP Pro.dll (FP Pro. 暗号モジュール本体)、c4cs.dll (暗号ライブラリ本体)

【価格】

製品及びサポートにつきましては、別途お見積りいたします。

お問い合わせ先



株式会社フォーカスシステムズ

ITイノベーション事業本部 セキュアサービス室

〒141-0022 品川区東五反田5-24-10 テラサキ第3ビル3F

TEL : 03-5420-2470 FAX : 03-5420-9510

アドレス : product@focus-s.com

